小笠原市政四カ年を総括

補正予算や図書館設置条例などを可決

9月定例 市議会

九月市議会定例会は、九月十日から二十二日までの日程で開かれ、一般会計補正予算や図書館設置条例など十二議案を可決、一議案を認定、社会教育指導員の報酬に関する議案を継続審査に、また前回までに継続審査となっていた請願、陳情十一件を採択、石油確保と価格安定に関する意見書を可決して閉会しました。

市長、議員にとって任期最後の定例会となった今議会、十四日から三日間行われた一般質問では、十二人の議員から小笠原市政四カ年の三つの柱である財政、空港、同和の総括や比江山処分、し尿とゴミの終末処理など当面の課題について質問がありました。

小笠原市長は議会開会日の十日、提案理由の説明に先だち市政の現状を次のように報告。

『過去四年間を顧みて感慨深いものがありますが、私は〝素人行政家の恥多し〟という感じです。当初から私の努力目標にしてきた空港・財政・同和の三つの柱、またその他のことについて報告します。

■空　港

拡張・ジェット化はひとつの歴史の流れで受け入れざるを得ない政策ではないかと思う一方、このことにより市民が犠牲を払うことは許されないという思いも強く市政担当者として悩んできました。

空港問題解決のためには、まず、環境の整備が必要との考え方から周辺対策整備協議会をつくるとともに、市民のみなさんの犠牲をより少なくするために県の基金の金利でまかなうという方針も決定してきました。今後なお多くの問題を残していますが、一定軌道に乗っているということがいえると思います。

■財　政

五十四年度は二億五千万円の解消計画をたてていますが、両開発公社の赤字二十九億の金利が、解消金額を上まわるという状態で、引き続いて大手術が必要です。

財政基盤の確立が行政の基本になりますので、まずこれを達成したいと思います。財政基盤を確立すれば、本市はかなりの好条件に恵まれた土地柄ですので、一定の発展が期待できるのではないでしょうか。

■同和対策

本年度より三年間特別措置法が延長されましたので、積み残しの事業を消化すべく努力を続けるつもりです。

■その他の問題

ゴミ焼却場の操業ストップですが、私どもの平素の努力と注意が不足したためにおこったもので、まことに申しわけなくおわび申しあげます。さしたる事態にならずに操業が再開できましたことは、市民、議会のみなさんや近隣六町村の関係者のみなさんの冷静な対処のたまものと心からお礼を申しあげます。今後の対策は排水処理施設の機械化ですが、さらに環境の整備についても話し合いを続けます。

財政基盤のカギの一つである「比江山処分」の問題ですが、地元へは大きな夢を持たせながらここで大きく転換することは心苦しく、抵抗のあるのは無理のないことだと思います。しかし、財政最優先という見地からこれも地元との話し合いを深めながら木材団地の実現ができるよう努力しています。

施設面では、児童センター、香南中学校が完成、大湊保育所、市立図書館の完成が予定され、徐々にではありますが整備が進んでいる状態です。これは市政の一つの進むべき方向を示しているのではないかと受けとめています。今後とも教育、厚生施設の整備に対する努力を続けていきたいと思います。

〝市制二十周年〟、これは市にとっても、市民のみなさんの日常生活にとってもひとつの大きな節目です。この節目にあたり、市政を担当する私は、たいへん光栄に存じますとともに、議員のみなさんの市政に対するご協力や諸先輩の大きな功績のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。』

一般質問から

◇空　港◇

□周辺整備の事業費は約二百億円。その実施状況は百分の一、57年度開港に間に合いますか。空港自体の工事より、周辺を早く整備して市民の生活を守ってください。

■周辺とはどこまでかをにつめて営農に支障をきたさないよう、積極的に工事をすすめていきたい。

□整備基金の増額と周辺整備範囲の拡大を図ってください。

■基金増額は今後の推移でという県の意向だが、市民に迷惑をかけないという点から覚え書きは重要なのでよく検討します。

□拡張で吾岡山のきりとりも必要だときく。この山を市民の〝いこいの場所〟とする計画を早急にたてていただきたい。

■たいへんいい計画だと思います。きりとりのことはもう少し空港の計画が進んだ時点で県と協議したいと思います。吾岡山全体をどうするかも今すぐ決めるという訳にはいきません。

◇し尿・ゴミ処理◇

□黒滝部落との覚え書きの件は?。

■地元との約束の実施が遅れすみません。9月4日に地元に行き、話しあいました。地元から逆に永久施設を早く設置せよとのアドバイスをいただきました。覚え書きの条件も検討してくれているので〝交換〟もそう先ではないと思います。

□三畠地区へ一千万円支払うとのことだがその内容の説明を……。

■処理場設置当時から、周辺の美化をせよとの要求がありましたがそれを実施していなかったので、いわば今までの迷惑料ということも含めて、組織議会でも議決していただいています。

◇都市計画◇

□十市パークタウンが市街化区域になったが、道路網の整備などで市街化が予想される岡豊、国府、久礼田地区の構想はどうですか。

行政が市民生活の後をいくのではよい行政とはいえないと思うが。

■後免周辺の整備が終って他地区のことを考えるというのが順序ですが、これらの地区は近い将来何らかの対応の必要性がでてくると思います。

◇教　育◇

□稲生小は老朽校舎のため改築が必要だ。市内他地区の例によると寄付がある所が優先されるときいているので、一千万円の寄付をめざしている。今年中に実現した場合は改築してもらえるだろうか。

■改築要件としては①教室の不足、②用地取得済であるということだ。

◇市職員定数条例の一部を改正する条例

市街化区域の急速な発展により業務量が増大している消防職員の定数を、現行の38名から42名に改めるもの。

◇市立公民館設置および管理条例の一部を改正する条例

〝岩〟あるいは〝岩村〟と、これまであいまいだった岩村地区の名称が、昨年の市政こん談会で今後「岩村」で統一することになり、これまでの岩公民館を岩村公民館に変更するもの。

◇市立図書館設置条例

待望の市立図書館が、市制施行20周年を記念して、9月28日に開館することになったもの。

◇市立保育所の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例

主な可決議案

前浜、南部両保育所とも老朽化がいちじるしいため改築が望まれていたが、10月1日から統合して新たに大湊保育所として発足するもの。また、岩保育所を岩村保育所に変更するもの。

◇国民健康保険条例の一部を改正する条例

国保被保険者が出産したときの助産費、現行6万円を今年12月1日から8万円に引き上げるもの。

◇市道の認定について

白木谷から国道32号線に通ずる市道小蓮小倉線に開拓道路として開設した延長三〇〇㍍を市道に認定しようとするもの。

◇昭和54年度一般会計補正予算

追加補正額六億九百七万九千円で、総額七十三億六千二百四十一万一千円となるもの。

一般質問から

□香南中が落成したが、校下から約二千万円が寄付されているようです。行政がすべき分野に寄付が使われるとしたら問題です。また寄付が半強制となっているようにも聞くが…。単純に寄付が多い所の設備がよいでは考えものです。

■確かに全部公費でまかなうべきですが、校下の熱意もありがたくおうけして、早期に整備していただくということです。寄付は強制にならないように指導はしました。

しかし末端まで浸透したかは確認できていません。

◇図書館◇

□市民のための図書館なので、市民の〝便利〟を第一に考えた運営をしてほしい。

■とりあえず六千百七十冊でスタートの予定です。市民の側にたった運営をすることはもちろんですので、県下の調査も行い規則をきめてスタートさせます。

□蔵書数が少ないが今後どのようにしてふやしていくつもりですか。

■12月補正など機会あるごとに増やしていきたい。六千百七十冊のうち寄贈は八百十九冊です。

◇保　育◇

□現在市立の保育所の定員は千七百三十五名、しかし実際に保育している園児は約千六百人と、大きな保育所一園ぐらいの差があるが、これ以上入所させることはできないものか。

■古くなった施設を次々に改築しているが、新しく保育所を建設するときは収容人員を増やしている。しかし、財政面からこれに対する職員を増員できないのも一つの原因です。

◇比江山◇

□土地を売ってくれたかたの移転先の再造成に市（土地開発公社）が二千二百万円出すときいたが財政再建中でもあり別に方法はなかったか。市民の不信感もでよう。

■再造成の必要が生じ、種々話しあった結果、やむを得ず支出するということになりました。

□処分が遅れている原因は、市が地元に対して不親切だからではないのですか。

■地元の要望もまとまったと聞いていますので、提出されればすぐに検討します。市としてはいっしょうけんめいやっているつもりなのでもう少し時間をいただきたい。

□木材団地をあきらめて、歴史公園をという方法は……。

■木材団地の実現は、県政の長年の宿題でもあり、この計画をUターンさすことはむつかしい。